



“修学旅行だより” 総集編

石中ホームページでは、修学旅行団から送られてくる情報を随時更新していました。ご覧になっていただけでしたか？（3日間のアクセスはのべ530件）今号では、その軌跡をたどってみましょう。



1 全員、無事、新幹線（のぞみ99号）に乗りました。今日はあいにくの雨ですが、みんな元気で新幹線ライフを満喫しています。（8:20受信）

2 10時50分博多に無事到着し、11時20分特急かもめに乗り換えました。こちらも雨が降っています。かもめの車内で昼ごはんを食べました。配られた弁当は、お寿司、カレー、唐揚げ...とバラエティ豊かな内容でした。生徒の感想「とてもおいしかったです！」今は佐賀県を通過中です。（12:09）

3 特急かもめで長崎に着いた時はまだ雨が残っていましたが、碑めぐりを始めるころには雨もあがり、語り部さんに案内していただいて平和公園や如己堂、浦上天主堂もしっかり見学してきました。学校で事前に学習していきましたが、現地に行ってみて平和の尊さをさらに深く考えることができました。うれしいことに、語り部さんから「きちんと話を聞いてくれましたね」とお褒めの言葉をいただきました。

全員元気でホテルに到着です。（18:01）



浦上天主堂



ホテルJALシティ長崎

平和セレモニーでの「石部中学校平和宣言」

私たち石部中学校3年生は、長崎を訪れるにあたり、長崎に関連する本を調べたり、「長崎の少女少女たち」のビデオを視聴し、また永井隆博士の生涯を勉強することをとおして長崎について学んできました。その学習を進めていくうちに、戦争や原爆の恐ろしさ、そして悲惨さについて考えてきました。だからほんの少しは戦争や原爆のことを分かったような気でいました。でも、この街に眠るみなさんの痛みや苦しみ、とてつもない悲しみを私たちは机の上で知っただけに過ぎません。

終戦から65年。いまだに原爆に苦しめられている方々がたくさんおられます。今日は被爆地ナガサキを、自分の目で、足で、からだ全体で、そして心で学んでいきたいと考えています。戦争や原爆の被害にあわれた人々の心が痛くなるほどの苦しみや悲しみを感じ取り、その姿に目をそらさず、しっかりと向き合います。そして、平和の尊さについてさらに深く学び、絶対に戦争を起こすまいとの決意をより固いものにしますと宣言します。

この先、世代が変わっていくと、この現実と戦争の記憶、多くの人々の尊い犠牲の上に築かれた平和のありがたさを私たちは決して忘れません。このナガサキで学んだ平和の本当の意味をしっかりと受け止め、これからの私たちの生活に生かしていくことを誓います。

2010年4月22日 石部中学校修学旅行団



4 夕食です。長崎と言えば卓袱料理^{しっぽく}が頭に浮かびますが、今夜の献立は中華料理。テーブルにずらり並んだ料理に舌鼓をうちました。ほんとに美味しく、いっぱいいただきました。「みなさん盛り上がり楽しく召し上がっていますね」と、レストランのかたがおっしゃっていました。夕食の後はみんな元気に過ごしています。疲れのためか頭が痛いと言っているひともいますが、緊急を要するような状態ではありませんのでご安心を。（20:00）

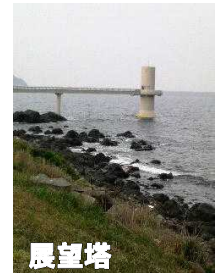


- 5 今日の午前は長崎市内班別自主研修。朝食をおいしくいただいて、曇り空で暑くも寒くもない長崎の街に全員が飛び出していきました。(中には夜遅くまで友達と語っていたのか、「眠い~」「しんどい~」と、ぐったり気味の生徒もいましたが)

- 6 自主研で回っているときの長崎は晴れたり曇ったり。班での動きがバラバラになったり集合時刻に遅れたりといった課題も残しましたが、中華街の角煮まんを賞味したりグラバー園からの見晴らしに感動したりと、エキゾチックな長崎を楽しみました。現在は唐津に向かって移動中。「動き回って疲れた」と言っていたひとにもバスに乗っている間に回復するかな?(14:54)



- 7 予定よりも少し遅れて唐津市玄海町に到着。入村式を終え、25軒ものおうちに分かれてのホームステイの始まりです。玄海町のみなさんはいずれも笑顔があたたかく、早速、タケノコ掘りに出かけたところ、夕陽を見に行ったり海底7mの海中展望塔を訪れたりしたところなど、さまざまに活動しています。やや体調不良を訴えるひともありましたが、旅行の疲れといったところで、いろんなことを体験してみようという思いの方が勝っているようです。(17:19)



- 8 地図を広げて確かめてみてください。ここ玄海町は波戸岬のあるところ。そこでサザエのツボ焼きをいただきました。「磯の香りがして、とってもおいしい!」(17:55)

- 9 玄海町のみなさんには本当によくしていただき、朝は涙ながらの別れをしたひともありました。午前の活動「唐津よかばい体験」では降っていた雨もあがり、それぞれが選択した



内容に楽しく挑戦しました。シーカヤック体験を終えての

完成した手打ちそば

感想、「最初のうち、カヤックで海に出るのはとても怖かった。でも、慣れてきたら楽しくなって、もっと乗っていたかったなあ」。船釣り体験では船酔いしたひともありましたが、もう大丈夫。博多に向けて出発しました。(11:06)(14:05)

- 10 「のぞみ46号」は定刻どおり博多駅を発車、定刻どおり京都駅に到着しました。途中、車内で解散式が。実行委員さん、ご苦労さまでした。添乗員さん、写真屋さん、お世話になりました。

石部駅到着19時35分。石部中学校到着19時48分。おかえりなさい!

保護者のみなさま、修学旅行にいたるまでのさまざまなご協力、当日の送迎など、ありがとうございました。みなさまのご協力があったからこそ心に残るよい旅行になったと3年部一同喜んでいきます。

また、旅の途中、長崎のみなさん、唐津のみなさんにもホームページにたくさんアクセスいただいたようです。みなさんにも大変お世話になりました。ホームページに掲載したお礼の言葉から。「それぞれがたくさんのおみやげと大きな思い出を携えて帰ってきました。この修学旅行が意義あるものになったのもみなさんのお力添えがあればこそでした。本当にありがとうございました。」

